



人とのつながりは、「**地域のお宝**」で、お互い顔の見える関係から始まる支え合い活動です。サークル活動、趣味の仲間、ご近所さんとのお裾分け、お茶飲み仲間は、5年後、10年後の人生を豊かに過ごすための糧となります。

あなたの今のつながりを「**支え合い活動**」として意識してみてください。



休泊地区

沖之郷祇園祭



手作りの万灯

八坂神社奉納幕

地域の伝統行事「沖之郷祇園祭」が7月15日(土)JA太田市沖之郷選果所にて開催され、地域住民約200人が集まり五穀豊穡や無病息災を祈願しました。3年に1度の山車の運行は、コロナ禍の影響で6年ぶりでした。

伝統文化の継承

今回の祇園祭は、1日に規模を縮小しての開催でしたが、装飾や山車の準備などを子供からお年寄りまで、多くの住民が参加し、力を合わせて行うことで、**世代を越えたつながり**が生まれていました。

また、子供達にとってお祭りは、地域の歴史や文化を学ぶ貴重な機会となっており、太鼓や笛などのお囃子を練習・披露する中で、地域に根付いた**伝統文化**が脈々と継承されている様子が窺えました。



お囃子を披露する様子

地域のお宝発見 ～太田市生活支援体制整備事業～



参加者にインタビュー



山車保存会 会長
中村 康美さん (72)

囃子保存会 会長
藤田 明雄さん (59)

今回お祭りを開催出来て本当に良かったです。子供達の喜ぶ顔を見て嬉しかったです。

1年通して囃子の練習はしているが、コロナで子供に囃子を叩かせてあげられなかった。ようやくお祭りが開催出来て、山車の上で叩かせてあげられたので良かったです。

みんなで太鼓を叩けて楽しかったです。お祭りは好きなので、練習してきた成果が出せて良かったです。

このようにみんなが集まる場所があるのはありがたい。お祭りは結束力が生まれるので、下の世代に繋いでいきたいです。

おじいちゃんが太鼓をやっている自分も興味を持ちました。とても楽しかったです。

吉田芽生さん
(6年生)

吉田湊くん
(3年生)

栗田誠一さん (69)
(区長)



コロナ禍の中で規模は縮小しましたが、お祭りを開催する事で、人と人とのつながりを切らず、少しでも顔を合わせて会話ができることに皆さん喜びを感じていました。

また、沖之郷町にある伝統文化を地域の皆さんが大切にしており、それを継承できるだけの「人と地域」のつながりがあることも実感しました。

★あなたの地域のお宝情報を募集しています！

身の回りのお宝を探しています。「私の近所ではこんな取り組みをしている」「こんな工夫をして気にかけて合っている」など、あなたの地域のつながりを教えてください！情報をお持ちの方は右記お問い合わせまでお願いします！



詳しくはこちら

お問い合わせ

太田市社会福祉協議会 地域福祉係

〒373-0817 群馬県太田市飯塚町1549

TEL 0276-46-6208 FAX 0276-46-6229